

## 愛のサウンドフェスティバル

### 聴く人たちに感動を 盲重複障害者「光バンド」 立川、17日 / 東京

毎日新聞 2016年9月5日 地方版



本番まで半月を切り追い込みをかける光バンドのメンバーら＝東京光の家で

視覚と身体などに障害がある盲重複障害の人たちで作る「光バンド」が17日、立川市のたましんRISURUホール（同市民会館）で「愛のサウンドフェスティバル～煌（きらめき）」を開く。リーダーの高橋正秋さん（48）は「演奏を聴く人たちに感動してもらうことで、自分たちのモチベーションが高まる」と話しており、本番を前にメンバーも練習に熱が入っている。【齊藤三奈子】

イチ、二、サン……。高橋さんのピアノのリードで、11人のメンバーは演奏に入る。メンバーは楽譜は見えないが、耳を研ぎ澄まして曲を覚え、ピアノやドラム、シンセサイザーを奏でる。ボーカルも兼ねる高橋さんの力強い低音とともに、ベテランの西沢清和さん（64）による伸びのある澄んだ歌声が生むハーモニーが、心にしみる。

コンサートでは地域の小中学生らと一緒に歌った「にじ」をはじめ、嵐の「ふるさと」や谷村新司さんがバンドのために作った「今を生きて」など、全13曲を披露する。司会は女優の高田敏江さん。岩手県出身の高橋さんは「熊本地震や東北・北海道を襲った台風など自然災害で苦しむ人たちの応援コンサートにもしたい」と、意気込んでいる。

光バンドの前身は1989年、視覚障害者総合福祉施設「東京光の家」（日野市）で生活する高橋さんらが結成した「正秋バンド」。毎年、全国で10回以上コンサートを開き、海外公演も2回実現した。月1回、専門家の指導を受け練習を重ね、映画「連合艦隊」の主題歌「群青」は、聴く人の心を揺さぶるようになった。一昨年、2人のメンバーが加わり「光バンド」として、さらなる飛躍を目指している。

17日午後3時開演、コンサートの売上金の一部を福祉団体に寄付する。福祉協力券（入場料）2000円。問い合わせは、東京光の家（042・581・2340）。

〔都内版〕